

## 科目「簿記」学習指導案

学 校 名	銚田第二高等学校	指 導 者	〇〇 〇〇
指 導 日 時	平成 30 年 7 月 17 日( 火 )第 2 限	場 所	2 年 1 組 教 室
対 象 生 徒	科 2 年 6 帯 組・コース 33 人		
科 目 名	簿 記	使用教科書	新簿記 実教 出版

### 1 単元 (題材) 名

第12章 掛け取引 掛け取引の意味

### 2 単元 (題材) の目標

- ・商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳に関心をもち、自主的に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
- ・なぜ、このように仕訳するのか、なぜ、補助簿はこのように記入するのか、補助簿の役割は何かなどについて、考えることができる。(思考・判断・表現)
- ・商品売買取引など個人企業における基本的な取引の仕訳、総勘定元帳への転記、各種補助簿の記入など、取引の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身につけることができる。(技能)
- ・商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、各種補助簿の役割を理解し、簿記の目的の一つに財産管理があることを理解することができる。(知識・理解)

### 3 単元 (題材) について

#### (1) 教材観

掛け取引の意義および売掛金・買掛金の意義を正確に理解できる。売掛金 (買掛金) は得意先 (仕入先) との取引による債権・債務であることに注意する。

#### (2) 生徒観

運動部の生徒が多く、活発な生徒が多い。日頃から周りの人と協力して勉強する姿勢が見受けられ、分からない問題がある場合は、自主的に質問することができる。

#### (3) 指導観

商業科目を2年次になり初めて学ぶため、いかに苦手意識を持たせず興味を持たせることができるかが重要であると感じる。掛け取引の意味については債権と債務の違いを確認させるためにイラストなどを利用した説明を行い、理解を深める。また、授業時に行ったプリントは毎回回収しその際に本時の内容について理解できたか、できなかったかを記述させるようにし、様子を伺いながら授業進度を再度確認し、実施していく。

### 4 単元 (題材) 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳は、どのように行うのかについて関心をもち、自分から進んでまとめ、問題演習に取り組もうとする。また、課題の提出などは、期日までに確実にやり、理解できない内容については、自分で調べたり、積極的に質問したりする。	なぜ、このように仕訳するのか、なぜ、補助簿はこのように記入するのか、補助簿の役割は何かなどについて、考えている。また、資本に関する取引について、資本が計算上の概念であるという点から取引の意味を考えている。さらに、経営活動を明瞭に表現することができる。	商品売買取引など個人企業における基本的な取引の仕訳、総勘定元帳への転記、各種補助簿の記入など、取引の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また、各種補助簿の役割を理解し、簿記の目的の一つに財産管理があることを理解している。

5 指導と評価の計画 (学習計画)

時	主な学習活動	指導及び留意点	関	思	技	知
1	・ 掛け取引の意味 ・ 売掛金に関する取引	掛けとは何か考えさせ、イメージを持たせた状態で授業に入る。	○	○		
1	・ 買掛金に関する取引	売掛金と買掛金の違いを明確にさせる。		○		○
1	・ 貸し倒れ ・ 掛け取引まとめ	企業が倒産した時の状況を考えさせる。	○		○	

6 本時の学習

(1) 本時の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掛けとは何かを生徒自身に考えさせイメージを持たせることができる。</li> <li>・ 売掛金が債権であることを理解できる。</li> </ul>
--

(2) 準備・資料等 (学習に必要なワークシート, 教育機器, 資料等を記入)

教科書(新簿記) ノート 自作プリント 電卓
------------------------

(3) 本時の展開 (導入・展開・終末)

時間	学習活動・内容	指導上の留意点 (◎評価)
導入 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書p. 111を見る。</li> <li>・ 売掛金とは何か考える。</li> <li>・ 本時の授業内容が書かれた板書を写す。</li> <li>・ 商品を売る人, 受け取る人の役割を決め, 実演する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 号令をする前に, 欠席の確認をしておき, 号令をする際には必ず一人一人を確認してから号令をかけさせる。</li> <li>・ 教科書を見ながら, 本時の授業の狙いを伝える。</li> <li>・ 以前勉強した売掛金について覚えているか確認させる。 ◎関心・意欲・態度</li> <li>・ 板書終了後, 机間巡視をする。</li> <li>・ 掛け売りの状況について説明する。</li> <li>・ 掛け売りの実演をしてもらう。</li> <li>・ 掛け売りの内容が少しでも分かったか確認する。</li> <li>・ 状況を見て次の段階に入る。</li> </ul>
展開 35	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売掛金に関する基本取仕訳を解く。</li> <li>・ プリントを解く。</li> <li>・ 問題集を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の例題をもとに, 売掛金の基本仕訳を説明する。</li> <li>・ 発問をする。(商品を売り上げたときに使う勘定科目は何か, など) 前回の内容の復習であることも伝え, 理解できているか確認する。 ◎思考・判断・表現</li> <li>・ プリントを配布する。</li> <li>・ プリントに入る前に, ノートが書き終わっているか状況を確認しておく。</li> <li>・ 発問しながら, 一緒に問題を解く。</li> <li>・ 進むスピードは速いかどうか聞きながら進める。</li> <li>・ 売掛金元帳の書き方を理解するように伝える。 ◎関心・意欲・態度</li> <li>・ 問題集を解くように指示する。その際, 机間巡視をし, 生徒一人一人の理解度を把握する。</li> </ul>
終末 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商品を掛けて売り渡したときの状況を発言させる。</li> <li>・ プリントを提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発問する。(商品を掛けて売り渡したときは, どのような状況なのか)</li> <li>・ 次の時間は, 商品を掛けて仕入れたときについて勉強することを伝える。</li> <li>・ 本時の内容が, 次の授業でもつながることを伝える。</li> <li>・ プリントを回収する。</li> </ul>